

平成30年工業統計調査 確報集計結果

鳥取県の概要

全国及び地域別の工業の実態を明らかにするために、平成30年6月1日を調査期日として実施した「平成30年工業統計調査」の確報集計結果（鳥取県）を公表します。

なお、平成29年工業統計調査結果を「前年」と表記しています。

1 事業所数、従業者数（平成30年6月1日現在・従業者数4人以上の事業所）

（1）事業所数 825 事業所（2年ぶりの増加）

前年に比べて5事業所（0.6%）増加した。

全国の前年比1.6%減と異なり本県は増加で、都道府県中第2位の増加率であった。

・「プラスチック」7事業所増、「電気機械」7事業所増などが主な要因

（2）従業者数 33,874 人（3年連続の増加）

前年に比べて1,149人（3.5%）増加した。

全国の前年比1.7%増を上回る増加率であり、都道府県中第2位の増加率であった。

・「電気機械」200人増、「輸送用機械」178人増などが主な要因

（単位：事業所、人、%）

区分	事業所数				従業者数			
	29年	30年	増減数	増減率	29年	30年	増減数	増減率
鳥取県	820	825	5	0.6	32,725	33,874	1,149	3.5
全国	191,339	188,249	△3,090	△1.6	7,571,369	7,697,321	125,952	1.7

（注）「29年」は平成29年6月1日現在、「30年」は平成30年6月1日現在の数値。

2 製造品出荷額等、付加価値額（平成29年1年間・従業者数4人以上の事業所）

（1）製造品出荷額等 8,040 億円（4年連続の増加・平成22年以来7年ぶりに8千億円を上回る）

前年に比べて687億円（9.3%）増加した。

全国の前年比5.6%増を上回る増加率であり、都道府県中第8位の増加率であった。

・「電子部品・デバイス」271億円増、「電気機械」101億円増などが主な要因

（2）付加価値額 2,553 億円（2年ぶりの増加）

前年と比べると192億円（8.2%）増加した。

全国の前年比6.4%増を上回る増加率であり、都道府県中第19位の増加率であった。

・「パルプ・紙」73億円増、「電気機械」34億円増などが主な要因

（単位：億円、%）

区分	製造品出荷額等				付加価値額			
	28年	29年	増減額	増減率	28年	29年	増減額	増減率
鳥取県	7,353	8,040	687	9.3	2,361	2,553	192	8.2
全国	3,021,852	3,191,667	169,815	5.6	973,416	1,035,346	61,930	6.4

（注）「28年」は平成28年1年間、「29年」は平成29年1年間の数値。

増減額と増減率は、万円単位の原数値により算出し、億円未満を四捨五入している。

3 製造品出荷額等の大きい業種

産業中分類別の製造品出荷額等の大きい上位5業種をみると、「電子部品・デバイス」、「食料品」、「パルプ・紙」、「電気機械」、「金属製品」であり、構成比はすべての業種で、全国の構成比を上回っていた。

(単位：億円、%)

産業中分類	本県の製造品 出荷額等	本県の構成比 (A)	全国の構成比 (B)	構成比の差 (A-B)
電子部品・デバイス	1,713	21.3	5.0	16.3
食料品	1,655	20.6	9.1	11.5
パルプ・紙	1,006	12.5	2.3	10.2
電気機械	967	12.0	5.4	6.6
金属製品	403	5.0	4.8	0.2

「電子部品・デバイス」1,713億円

(主な細分類業種)『コネクタ・スイッチ・リレー製造業』524億円

『音響部品・磁気ヘッド・小型モータ製造業』407億円

『その他の電子部品・デバイス・電子回路製造業』324億円

『液晶パネル・フラットパネル製造業』X億円

※事業所数が少数の業種は、製造品出荷額等をX億円(秘匿)とした。

「食料品」1,655億円

(主な細分類業種)『冷凍水産食品製造業』399億円、『その他の畜産食料品製造業』192億円

『処理牛乳・乳飲料製造業』X億円、『生菓子製造業』121億円

「パルプ・紙」1,006億円

(主な細分類業種)『洋紙・機械すき和紙製造業』654億円、『板紙製造業』X億円

『段ボール箱製造業』93億円

「電気機械」967億円

(主な細分類業種)『内燃機関電装品製造業』235億円

『その他の民生用電気機械器具製造業』211億円

『その他の産業用電気機械器具製造業』208億円

「金属製品」403億円

(主な細分類業種)『鉄骨製造業』103億円、『製缶板金業』61億円

4 製造品出荷額等の構成比が、全国より低い業種

産業中分類別の製造品出荷額等の構成比が、全国の構成比を3ポイント以上、下回っている業種は、「輸送用機械」、「化学」、「石油・石炭」、「鉄鋼」、「はん用機械」の5業種であった。

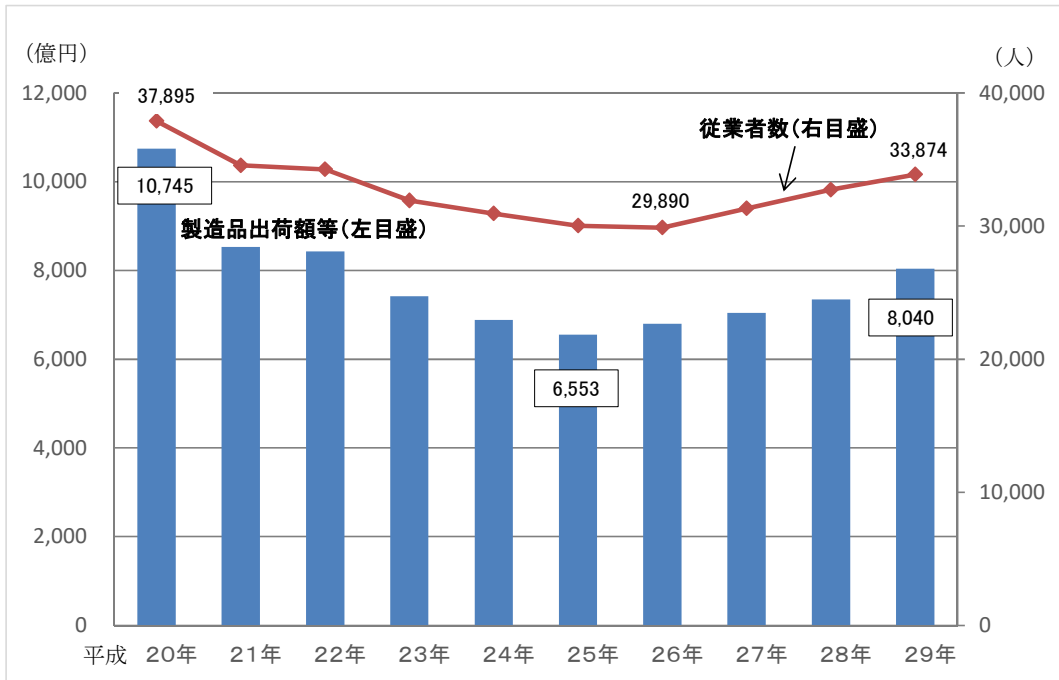
(単位：億円、%)

産業中分類	本県の製造品 出荷額等	本県の構成比 (A)	全国の構成比 (B)	構成比の差 (A-B)
輸送用機械	263	3.3	21.4	△ 18.1
石油・石炭	27	0.3	4.2	△ 3.9
鉄鋼	163	2.0	5.5	△ 3.5
はん用機械	25	0.3	3.7	△ 3.4

(注) 「化学」は、事業所数が少数のため秘匿。

5 製造品出荷額等、従業者数の推移

製造品出荷額等、従業者数の10年間の推移をみると、いずれも平成20年以降は減少していた。しかし、製造品出荷額等は平成25年、従業者数は平成26年で下げ止まり、その後は増加が続いている。また、平成29年の製造品出荷額等は、平成22年以来7年ぶりに8千億円を上回った。



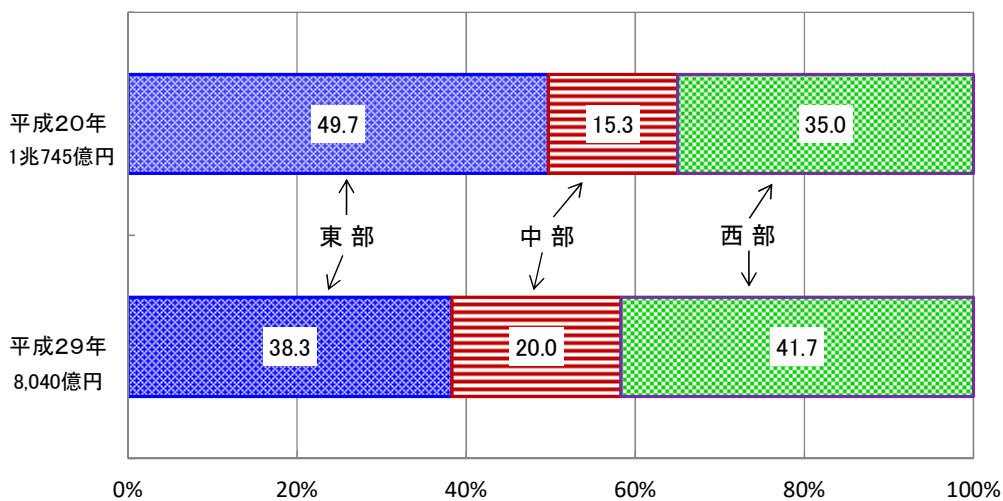
(注) 製造品出荷額等は、各年1年間の数値。

従業者数は、平成23年は平成24年2月1日現在、平成28年以降は6月1日現在、その他の年次は12月31日現在の数値。

6 地域ごとの製造品出荷額等

地域ごとの製造品出荷額等の構成比について、平成20年と平成29年を比べると、東部地域の割合は減少したが、中部地域と西部地域の割合は増加した。

- ・東部地域〔鳥取市、岩美郡、八頭郡〕
- ・中部地域〔倉吉市、東伯郡〕
- ・西部地域〔米子市、境港市、西伯郡、日野郡〕



7 品目別製造品出荷額が100億円以上の品目

品目別製造品出荷額が100億円以上の製造品目は18品目であり、前年に比べて2品目増加した。(前年は16品目であり、3品目増加と1品目減少により、本年は18品目)

区 分	製 造 品 目 名
食 料 品	「ブローラー加工品 (解体品を含む) 」 「冷凍水産食品」 「和生菓子」
パルプ・紙	「溶解パルプ ※」 「塗工印刷用紙」 「さらし包装紙」 「中しん原紙 (段ボール原紙) 」
電子部品・デバイス	「液晶パネル」 「プリント配線板用コネクタ」 「スイッチ」 「プリント配線実装基板」 「他に分類されない電子部品・デバイス・電子回路」
(そ の 他)	「普通合板」 「鍛工品」 「鉄骨」 「電力変換装置 ※」 「携帯用通信装置 (可搬用を含む) ※」 「自動車用内燃機関の部分品・取付具・附属品」

(注) 製造品目名の後に※印を付けた品目は、新たに100億円以上になった3品目である。

※平成30年工業統計調査の確報集計結果は、次のホームページに掲載しています。

- ・鳥取県統計課HP <https://www.pref.tottori.lg.jp/kougyou/>
- ・経済産業省HP <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/index.html>